



(2022)

安全報告書

富士見パノラマリゾート

富士見パノラマスキー場第1ペアリフト
富士見パノラマスキー場第2ペアリフト
富士見パノラマスキー場第3ペアリフト
富士見パノラマスキー場第4ペアリフト
富士見パノラマスキー場第5ペアリフト
富士見パノラマスキー場第6ペアリフト
富士見パノラマスキー場ゴンドラリフト



一般社団法人 富士見パノラマリゾート

1. 利用者の皆様へ

日頃より、富士見パノラマリゾートをご利用頂き、また弊社索道事業に対しご理解を頂き誠に有難うございます。

弊社は、スキー事業理念において「お客様の安全確保」を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2021年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年に続き、例のない事業環境に遭遇し、厳しい営業状況になりました。その状況下でも感染拡大予防に努め、衛生管理を徹底することにより感染の発生をすることなく過ごせたことは幸いであり、ご来場いただいたお客様のご理解とご協力には大変に感謝いたしております。

今後につきましても、施設整備をはじめ、より一層の衛生管理を徹底し、皆様が安心して楽しめる環境づくりを全社一丸となり実行していく所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。みなさまからの声を、さらなる輸送の安全に役立てたく積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

一般社団法人 富士見パノラマリゾート
理事長 **名取 重浩**

2. 安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、理事長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 全ての索道施設に携わる者は、輸送の安全確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する運転細則及び整備細則、関連する規定（本規定を含む。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、不安のある時及び危険を感じた時は最も安全と思われる取扱をいたします。
- 5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 6) 情報は常に漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 7) 常に輸送の安全第一の意識をもって行動します。

3. 索道運転事故発生状況

- 1) 索道運転事故
2021年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。
- 2) 災害（地震・暴風・豪雪など）
2021年度は、災害による運行停止はありません。尚、雷、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。
- 3) インシデント（事故の前兆）
2021年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

4. 安全確保のための取組

1) 安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2021年度の主要整備実施項目

第1ペアリフト	握索機解体整備（60台）、原動設備・折返し滑車軸受整備、通常整備
第2ペアリフト	原動装置カバー更新、通常整備
第3ペアリフト	通常整備
第4ペアリフト	夏季MTB専用搬器運用、通常整備
第5ペアリフト	握索機解体整備（84台）、通常整備
第6ペアリフト	握索機解体整備（60台）、通常整備
ゴンドラリフト	握索機整備、脱索検出器更新、山麓監視カメラシステム更新
	支柱索受装置整備（2号A、B支柱）ピン・ブッシュ・索受フレーム交換
	原動滑車ゴムライナー交換、山麓減速・速度同調押送モータ更新
	山麓山頂発電機・予備エンジン点検整備、通常整備
	キュービクル改修（山麓VT、DS、SR、山頂VT、DS）

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2022年度の主要整備計画項目

第1ペアリフト	夏季MTB専用搬器運用、通常整備
第2ペアリフト	支えい索更新、握索機解体整備（81台）、通常整備
第3ペアリフト	握索機解体整備（110台）、通常整備
第4ペアリフト	握索機解体整備（126台）、制御部品更新、脱索検出器更新、通常整備
第5ペアリフト	通常整備
第6ペアリフト	通常整備
ゴンドラリフト	握索機整備、脱索検出器更新、スプライス検出装置更新
	山麓山頂降り場押送モータ更新、索輪用輪芯更新（50個）、通常整備
	索受装置整備（1号B支柱下り線、10、13、18号支柱）
	ピン・ブッシュ・索受フレーム交換

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2) 人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中について、社員または経験者の指導による施設の仕様、リフト運行取扱についての安全教育を実施しています。また、社内外の勉強会、研修により技術力向上に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった研修も多く、提供された資料をもとに自社研修を適時行っております。

- * 令和3年度 索道技術研修会（北陸信越山岳観光索道協会） 4月13、14、15日 1名
- * 安全管理者選任時研修（(一社)労働安全研修センター） 5月19日 2名
- * 北陸信越山岳観光索道協会長野地区部会索道技術研修会（長野県索道事業者協議会） 7月2日 1名
- * 危険物取扱保安講習（危険物講習実施機関） 9月30日 2名
- * 令和3年度 索道技術管理者研修会（北陸信越運輸局）自社研修 10月 2名
- * 長野県索道事業者協議会事故防止研修会（長野県索道事業者協議会） 11月12日 2名
- * 赤十字救急法基礎講習（日本赤十字社） 11月28日 1名
- * チームリーダー研修（長野経済研究所） 10月4日、11月5日、1月20日 3名
- * スキー場の安全に係る会議（諏訪地区観光客安全対策推進会議） 12月3日
- * 安全に対する勉強会（富士見高原病院） 12月17日 31名
- * 長野県公認スキー場パトロール検定（長野県スキー場安全対策協議会） 1月11、12、13日 1名
- * SAI公認スキーパトロール研修（日本スキーパトロール協議会） 1月12日 1名
- * 長野県公認スキー場パトロール研修（長野県スキー場安全対策協議会） 1月12日 2名
- * 2021年度東急スノーリゾート索道技術管理者会議、ゲレンデ安全管理会議 Web開催
（東急リゾート&ステイ） 6月9日 5名、10月28日 5名
- * 安全対策委員会（自社スキー事業部） 各月
- * その他 各種人材育成研修に参加（長野経済研究所）
- * グループスキー場外部監査 監査員として（東急リゾート&ステイ） 2月4、5日 1名

【安全訓示】



【研修受講写真】



【勤務前研修】



【研修受講写真】



3) 訓練

毎年シーズン前及びシーズン中にリフトや設備の取扱いの教育、救助訓練を実施しています。
教育・救助訓練実施状況

- * ゴンドラ救助訓練 実救助訓練 5回
- * ゴンドラ救助訓練 予備エンジン救助訓練 6回
- * ゴンドラ合同救助訓練（諏訪広域消防本部、茅野警察署）4月20日 37名参加、12月9日 47名参加
- * 教育訓練等 15回
- * ペアリフト救助訓練 5回

【夏季勤務前 救助訓練】



【夏季勤務前 救助訓練】



【冬季勤務前 救助訓練】



【冬季勤務前 消防警察合同救助訓練】



4) 安全向上への積極的な取組

- * 監視カメラの設置
利用者の安全確保のためゴンドラリフトの乗り場に監視カメラを設置しています。
- * 気象情報の収集
外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。
- * 接客マナーの向上
索道業務マニュアルの細部を見直し業界No.1の接客を目指します。

5) 新型コロナウイルス感染症への取り組み

当社では、政府ガイドラインや索道事業におけるガイドライン、自治体の方針に沿い感染予防対策を実施し、お客様に安心してご利用いただく環境を提供しており、主な実施項目は次の通りです。

- * 入場時の検温の実施、各所にアルコール消毒液の設置
- * 乗車に際しマスク着用やソーシャルディスタンスの確保等による3密回避
- * ゴンドラキャビン内の換気の実施
- * 施設の備品やお客様が触れる箇所等の消毒を定期的実施
- * 出改札での飛沫防止やキャッシュレス等の非接触化を推進
- * 従業員における衛生管理の徹底

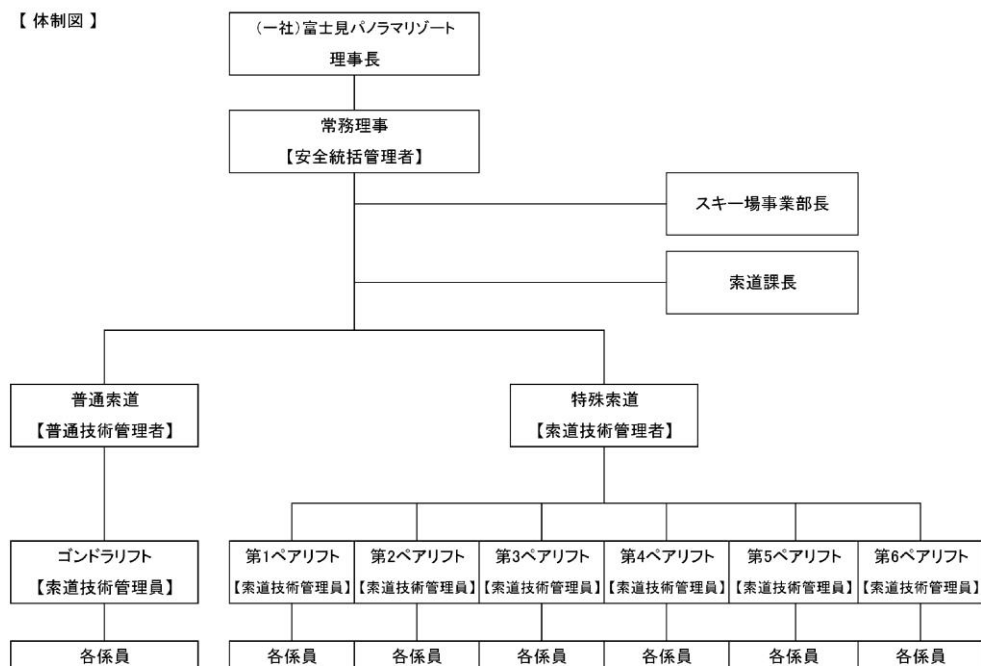
5. 安全管理体制図

2021年2月1日の鉄道事業法施行規則の一部改正に伴い、2021年2月に「安全管理規程」を改正し、理事長をトップとする安全管理体制を構築しております。

この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

理事長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【体制図】



6. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ努力してまいりました。これを踏まえ来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、さらなる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2021年度の安全報告書とさせていただきます。